

## 日清オイリオグループ「環境目標 2030」を策定 ～脱炭素投資を促進するインターナルカーボンプライシングを導入～

日清オイリオグループ株式会社(社長:久野 貴久)は、2030年に向けた環境目標を策定いたしました。主要な目標は、今年3月の「日清オイリオグループビジョン 2030」にて公開していますが、その他目標も含めた日清オイリオグループ「環境目標 2030」(以下、「環境目標 2030」)をお知らせいたします。

なお、主要な目標であるサプライチェーンの温室効果ガス排出削減を推進するため、インターナルカーボンプライシング(※)の導入を決定いたしました。従来の省エネ活動の計画的・徹底した実行とともに、新技術を核とした設備投資を検討し、目標達成につなげてまいります。

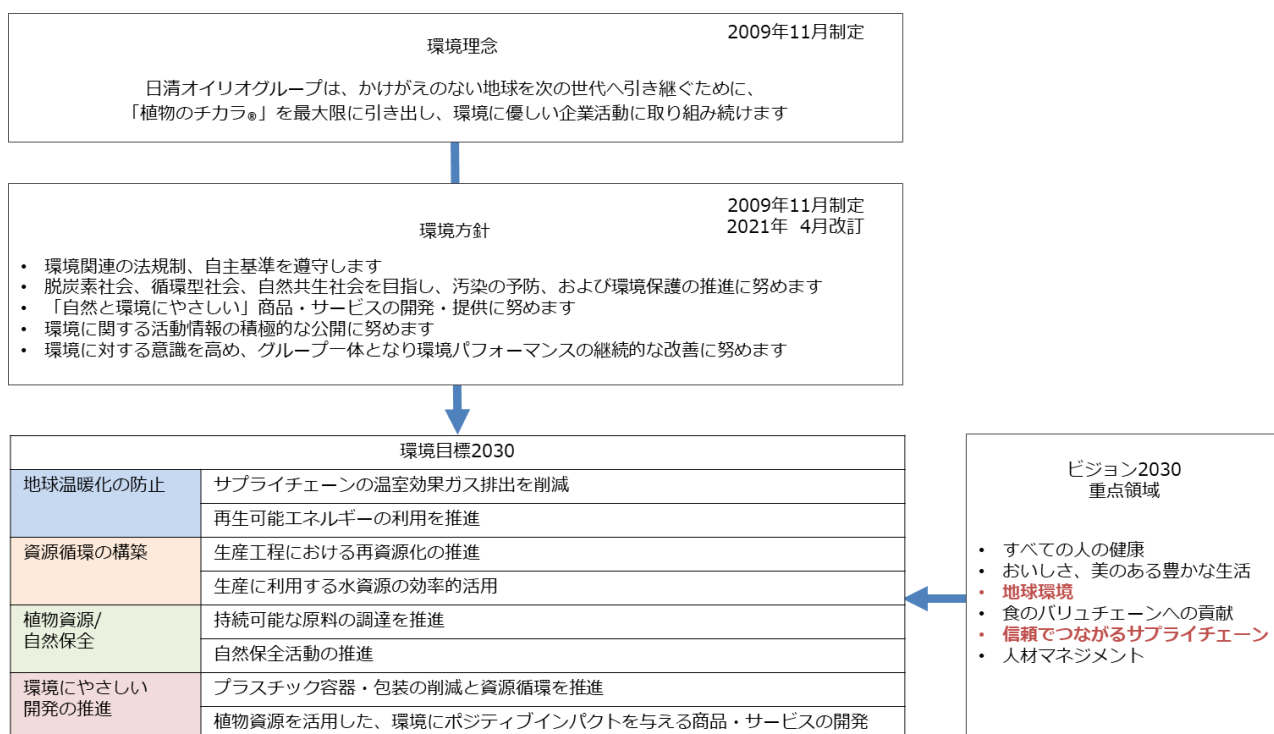
(※)Internal Carbon Pricing:ICP 企業内部で見積もる炭素の価格であり、企業の低炭素投資・対策を推進する仕組み。

今後も当社グループは、社会とともに持続的に成長するため、温室効果ガスの大幅削減の実現や、環境負荷の少ない容器・包装の開発などにより、資源循環型社会の構築へ積極的に取り組んでまいります。

### ■「環境目標 2030」

#### 1. 当社グループの環境に対する考え方

「環境目標 2030」では、当社グループが社会とともに持続的に成長するため、「日清オイリオグループビジョン 2030」で設定した「地球環境」と、「信頼でつながるサプライチェーン」の重点領域において、社会との共有価値の創造に挑戦します。



2. 「環境目標 2030」の実現により提供する社会的価値  
地球環境を次世代に引き継ぐために未来を見据えて挑戦します。

<p><b>【地球温暖化の防止】</b> パリ協定に整合した温室効果ガス排出削減目標に取り組み、気候変動の影響を低減化します。</p> <p><b>【資源循環の構築】</b> 資源は有限であるとの認識のもと、循環型社会を実現します。</p> <p><b>【植物資源/自然保全】</b> 持続可能な植物資源の調達を実施します。</p> <p><b>【環境にやさしい開発の推進】</b> 環境負荷の少ない容器・包装を開発し続けます。 環境問題解決型ビジネスにより、商品・サービスを通じて環境問題に貢献します。</p>
--

3. 「環境目標 2030」の詳細

テーマ	目標	2019年実績	2030年
地球温暖化の防止	サプライチェーンの温室効果ガス排出を削減		
	<ul style="list-style-type: none"> <li>Scope 1、2 におけるCO<sub>2</sub>排出量を削減する</li> </ul>	△4.2% 2016年度比	△31% 2016年比
	<ul style="list-style-type: none"> <li>Scope 3 のCO<sub>2</sub>排出量を削減する</li> </ul>		2021年公開予定
	<ul style="list-style-type: none"> <li>環境教育を実施し、社員一人ひとりが事業活動を通じたCO<sub>2</sub>排出削減を推進する</li> </ul>		
資源循環の構築	再生可能エネルギーの利用を推進		
	<ul style="list-style-type: none"> <li>堺工場における再生可能エネルギーの利用を促進する</li> </ul>		100%
	<ul style="list-style-type: none"> <li>堺工場が主導する取り組みを他拠点へ広げ、グループ会社へと展開する</li> </ul>		
	生産工程における再資源化の推進		
植物資源/自然保全	<ul style="list-style-type: none"> <li>生産工程での再資源化率</li> </ul>	99%以上	99%以上
	<ul style="list-style-type: none"> <li>食用油生産で発生する副産物を有効活用する</li> </ul>		
	生産に利用する水資源の効率的活用		
	<ul style="list-style-type: none"> <li>生産活動における用水の原単位を削減する</li> </ul>	△10.4% 2016年度比	△16% 2016年度比
環境にやさしい開発の推進	持続可能な原料の調達を推進		
	<ul style="list-style-type: none"> <li>持続可能なパーム油の調達を推進する</li> <li>認証油比率を高める</li> <li>RSPO認証油のSG比率を高める</li> <li>農園までのトレーサビリティを把握する体制を構築し、100%把握を目指す</li> </ul>	45.6% (2020/1-6) 45.5% (2020/1-6)	100% 50% 2024年パーム油 2030年パーム核油
	<ul style="list-style-type: none"> <li>大豆の持続可能性を高める取り組みを推進する</li> <li>持続可能なカカオの調達を推進する</li> </ul>		
	自然保全活動の推進		
環境にやさしい開発の推進	プラスチック容器・包装の削減と資源循環を推進		
	<ul style="list-style-type: none"> <li>プラスチック使用量の削減につながる商品設計や新たな容器を開発する</li> <li>リサイクルし易い容器・技術の開発と社会におけるリサイクルの仕組みを整える</li> <li>資源循環が可能なリサイクル材や植物由来素材への代替を推進する</li> </ul>		
	植物資源を活用した、環境にポジティブインパクトを与える商品・サービスの開発		
	<ul style="list-style-type: none"> <li>食用・工業用領域での環境ポジティブインパクト商品・アプリケーションを開発する</li> </ul>		

※今年3月に「日清オイリオグループビジョン 2030」で公開した目標を含みます。

<p>リリースに関するお問合せ先:</p> <p>日清オイリオグループ株式会社 コーポレートコミュニケーション部 広報課</p> <p>TEL:03-3206-5109 〒104-8285 東京都中央区新川一丁目23番1号</p>
---